

タイトル

四輪の灯台

技術分野

- 電機・電子
- 情報・通信
- 有機材料
- 金属材料
- 食品・バイオ
- 土木・建築
- 農林・畜水産
- その他( )
- 機械・加工
- 化学・薬品
- 無機材料
- 輸送
- 生活・文化
- 繊維・紙
- 医療・介護

利用分野・適用製品

- ・駐車場施設
- ・駐車場管理

情報メモ

- 詳細資料： 有 無
- サンプル： 有 無
- 見学： 可 不可
- その他：

従来技術の課題・問題点

駐車場に車を停める機材は、有料駐車場を除くと床面に塗布した白(黄)線、車止めが一般的である。白(黄)線は、夜間、雨等の気象条件や、汚れや経年変化で見えにくくなる。また、サイドミラーを見ながらバックしていると駐車エリアに進入後線が見えなくなる。サイドミラーを下げると白線は見られるが、車体の向きは分からない、また車体後方の人影、車が見えず事故の原因となる。

本発明の効果・特長

スタンド上にある左右の2つの標識と車体をサイドミラー上に投影しながらゆっくりバックする誘導方式によって真っ直ぐ駐車出来る。床上の白線のように気象に左右されない他、白線の再塗布、抹消等の整備が不要である。また、スタンドを前後左右に連結すれば、商用、野外駐車場にも使用出来る。

技術概要(構造・動作等)

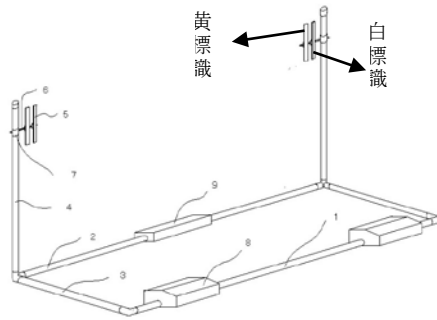
下記の図で分かるように、4辺の枠の一边の両端に支柱を立て、それぞれの支柱に標識2個を備えた装置である。本装置の原理は、遠近現象を利用し、両側二つのサイドミラーに投影された標識と車体の位置を継続的に確認することによって車止めまで導いて停車する誘導装置である。標識には、白、黄を用意し、白は乗用車(車幅 170~180)、黄は軽自動車(147~)、トラック等大型車は、ポールが目印となる。この標識は、海上で着岸をみちびく灯台に似ているので、タイトルを「4輪の灯台」とした。  
(写真の説明) 2段の写真について、上段の2枚の写真はドライバーが車体と標識が投影されている左右のサイドミラーを見ながらバックしている状況、下段は停止した車両後部の標識の位置状況を示す。

図・特記事項・その他

(左サイドミラー見る)

(右サイドミラー見る)

図面:



(現在、利用中)

「試作品」



前方から見た図

主たる提供特許

登録番号/公開番号： 特許 6165704  
 出願日： 平成 26 年 12 月 10 日 (2014 年)  
 発明の名称： 駐車位置誘導装置  
 権利者/出願人： 津田 悦夫

関連特許番号